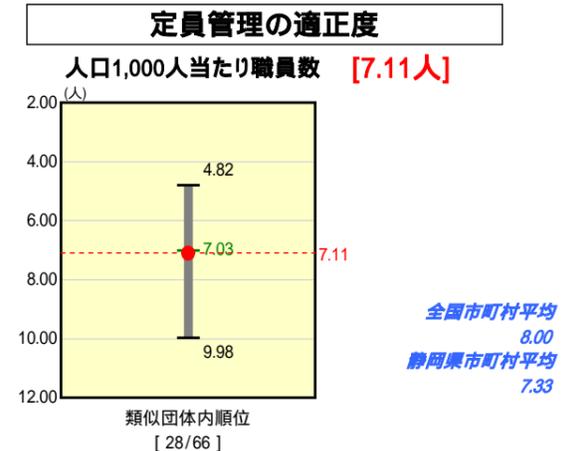
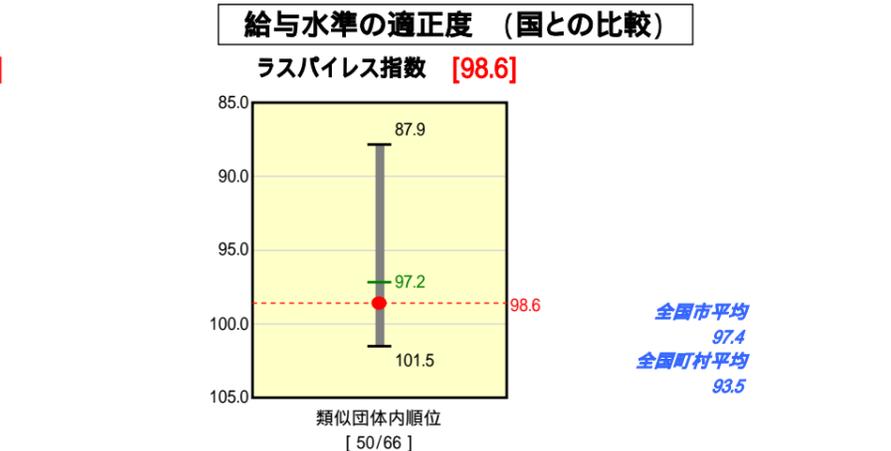
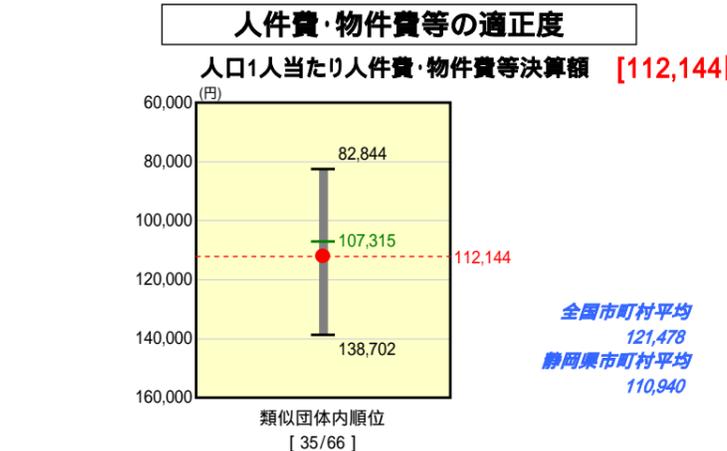
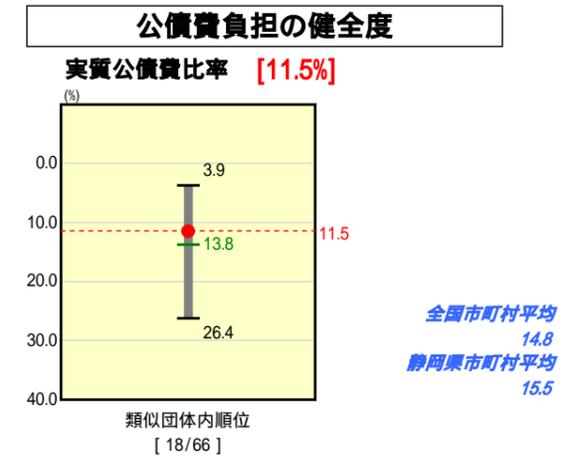
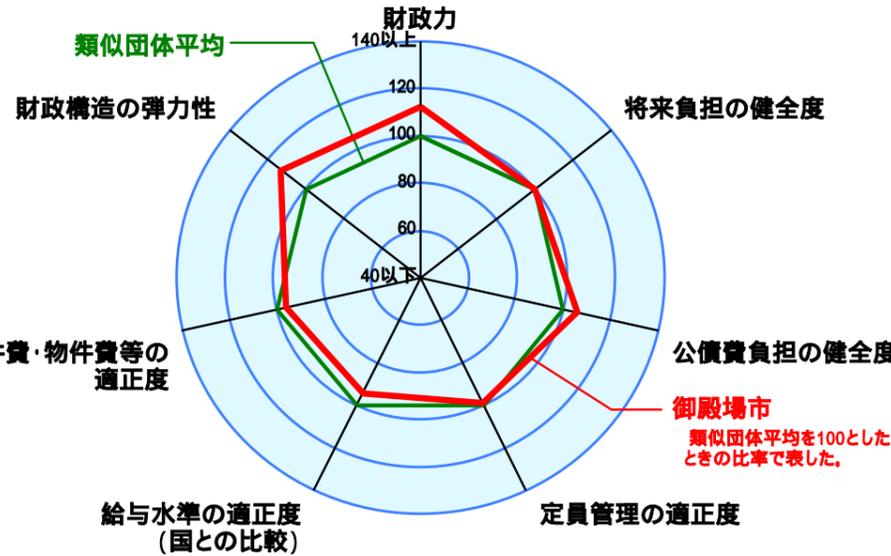
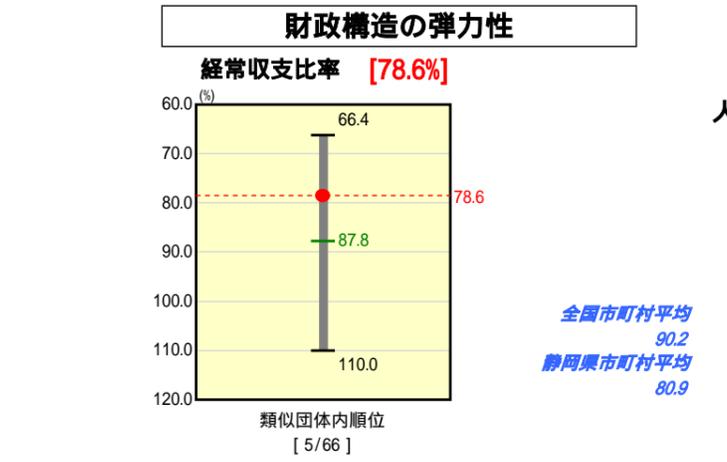
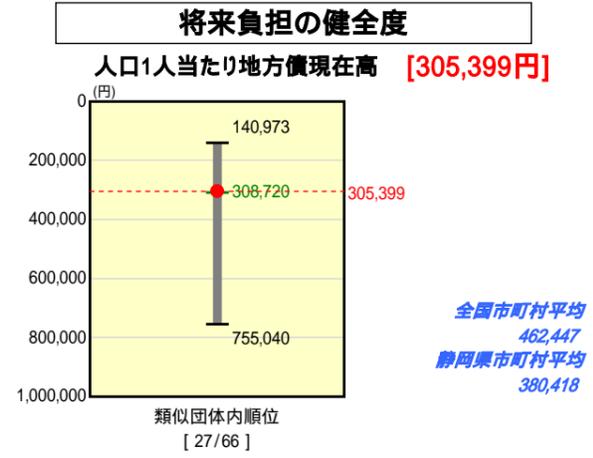
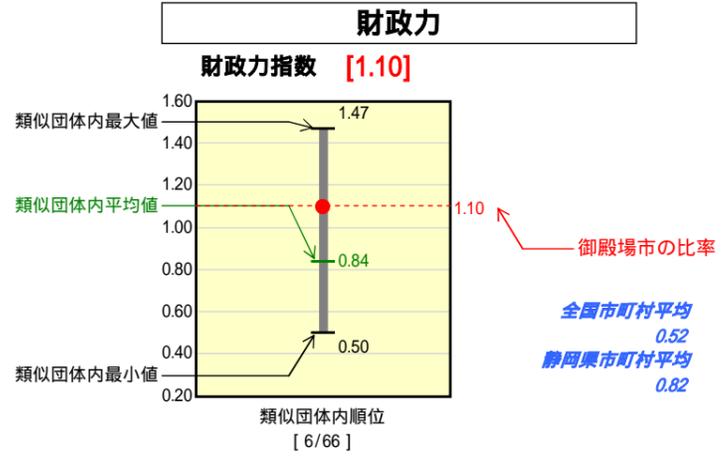


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

静岡県 御殿場市

人口	85,210人	(H18.3.31現在)
面積	194.63	km ²
歳入総額	31,583,525	千円
歳出総額	30,146,990	千円
実質収支	1,204,322	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
・大型事業所の集中等により類似団体平均を上回る税収があるため、1.10となっているが、安定した行政運営を図るため、集中改革プランに基づき、市税収入の確保を図るなど自主財源の確保に努め、また定員適正化計画に基づく職員数の削減による人件費の削減や事業の集中化、効率化により歳出削減に努める。

経常収支比率
・類似団体では上位であり、平均値より9.2ポイント低い水準にある。しかしながら、近年公債費や扶助費等が増加傾向にあるため、比率も上昇傾向にあり、今後の指標が悪化する懸念がある。市税や使用料等の自主財源の確保に努めるとともに、人件費の削減などの行政改革に積極的に取り組み、現在の水準を維持・向上させる。

ラスバイレス指数
・旧来からの給与体系により類似団体平均を上回る98.6となっている。今後は地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえ、初任給の見直しを含む給与構造改革の実施により、より一層の給与の適正化に努める。

実質公債費比率
・従来からの起債抑制策により類似団体では上位だが、今後大型事業が計画されるなど公債費の増額が見込まれるため、中長期的にわたる財政健全化を図るべく起債計画や財政計画を策定し、実質公債費比率の過度な上昇を抑え、財政の硬直化を防ぐ。

人口1人当たりの地方債残高
・類似団体の中では平均をやや下回るが、今後大型事業が計画される等公債費の増額が見込まれるため、中長期的にわたる財政健全化を図るべく起債計画や財政計画を策定し、他事業における地方債の発行の抑制等により、類似団体平均を上回ることがないように努める。

人口1,000人当たり職員数
・類似団体の平均を若干上回る水準にある。大量退職を迎える中、職員の年齢構成の平準化や人材の確保等についても考慮し、組織機構改革、事務事業の見直しや民間委託の推進により、今後5年間で職員数を5.3%(36人)の削減を目標とする。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
・人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっている。既に平成18年度に2km未満の通勤者の通勤手当の廃止等職員手当の見直しや給与構造改革の実施、定員適正化計画による職員総数の削減を実施中である。